

# 七高SSH通信

R4/9/8  
令和4年度  
第9号

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

## 高校生バイオサミット in 鶴岡

8月22日(月)~24日(水)にかけて第12回高校生バイオサミット in 鶴岡が山形県鶴岡市の鶴岡メタボロームキャンパス(正式名称:鶴岡市先端研究産業支援センター)で、決勝進出者たちが3年ぶりに一堂に会し行われました。全国から集まった生徒たちが、それぞれ素晴らしい研究を発表しました。その中で、本校36Hの示野さん、南くん、宮田さん、宮元さんたちの研究『タンポポの種子の特徴から見た在来種と外来種の繁殖戦略の違い』が、優秀賞を受賞しました。成果発表部門で代表発表者の宮田さんが、個人対象の審査員特別賞を受賞しました。審査員特別賞は3年連続の受賞でした。他の参加者との交流もあり、充実した3日間でした。



鶴岡ではハイレベルな研究を見たり、他校の高校生や慶応大の学生と交流し、密度の高い時間を過ごせました。このような優秀賞を頂けてとても嬉しいし、今までみんなで頑張ってきて良かったと思いました。

今回のバイオサミットで、全国から集まった高校生のレベルの高い研究を聞いたり交流したりすることができて刺激をうけることができました。望んでいた賞はとれませんでした。優秀賞と審査員特別賞のW受賞できてとても嬉しく、今までの努力が報われた感じがしました。これで課題研究は一段落したのですが、これからも課題研究で培ったスキルや経験を活かした分野で研究を続けていきたいです。

バイオサミットに参加したことで、たくさんの同年代の研究者と関わることができました。彼らも自分の研究に絶対的な自信を持っており、話す内容もレベルが高く、とても有意義な時間を過ごすことができました。



バイオサミットは今までで1番緊張した発表会でした。発表練習と質疑応答対策を十分時間をかけたつもりでしたが、うまくいかなかった部分もあり、発表の難しさというのを改めて感じました。まわりの発表者の研究への情熱やレベルの高さにとても刺激を受けました。交流会で関東の高校生と話す機会がたくさんあり、モチベーションの高さをひしひしと感じました。受賞は厳しいかなと思っていましたが、優秀者と特別審査員賞をいただくことができ、とても嬉しいです。

## 物理チャレンジ2022

8月23日(火)~26日(金)にかけて、兵庫県姫路市のアクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター)にて、物理チャレンジ2022の第2チャレンジ2022全国大会が行われました。第2チャレンジ(実技コンテスト、倫理コンテスト)は、第1チャレンジ(実験課題レポート、倫理問題コンテスト)の成績によって選抜された選手約100名が選出され、3泊4日の合宿形式でのコンテストです。本校36Hの瀧本くんが参加しました。



まず大きく衝撃を受けたのは他の生徒との間の大きな差である。大学レベルの定理法則や物理での微分積分を当然のように使いこなし、難解な議論や解説にもついていけるような力を身に付けた中高生に囲まれて4日間を過ごした。

また、物理という教科の面白さや可能性を大いに感じられた。”生の物理”の体験を通して感動を覚えた。最後に感想としては、本当に楽しかったということに尽きる。普段できないような高額で精密な実験器具を使った実験や、普段解かないような難解な問題の経験に加え、全国の超上位中高生との高度な物理数学の議論など、知的好奇心くすぐられる最高の4日間だった。